

今回山形短観における主な判断、事業計画の動き
(2017年6月調査)

1. 業況判断

6月調査では、製造業は悪化したものの、非製造業が改善したため、全産業では8と前回調査から2ポイント改善した。因みに、前回調査では悪化、水準は2を予測していた。

製造業・・・化学、鉄鋼が改善したものの、輸送用機械などが悪化したため、全体では4と前回調査から▲2ポイントの悪化となった。前回調査では▲8ポイントの悪化を予測していた。

非製造業・・・情報通信は悪化したものの、卸・小売、運輸・郵便、電気・ガスなどが改善したため、全体では12と前回調査の水準に比べて7ポイントの改善となった。前回調査では1ポイントの改善を予測していた。

先行き(9月予測)は、非製造業は悪化するものの、製造業が改善するため、全産業では4ポイントの改善を予測。

2. 需給・在庫・価格判断

国内での製商品・サービス需給(製造業)・・・「供給」超幅は変化なし。

製商品在庫水準(製造業)・・・「過大」超幅は縮小。

販売価格(全産業)・・・「上昇」超に転化。

仕入価格(全産業)・・・「上昇」超幅は縮小。

3. 売上・収益計画

(1) 売上高

2016年度(実績)は、製造業は前年度比▲1.5%の減収、非製造業は同0.9%の増収となり、全産業では同▲0.4%の減収となった。

前回調査との比較では、製造業(修正率0.2%)、非製造業(同0.9%)とも上方修正されたため、全産業では0.5%の上方修正となった。

2017年度(計画)は、製造業は前年度比1.8%、非製造業は同1.0%の増収となり、全産業では同1.4%の増収計画。

前回調査との比較では、製造業(修正率0.8%)、非製造業(同0.4%)とも上方修正されたため、全産業では0.6%の上方修正となった。

(2) 経常利益

2016年度(実績)は、製造業は前年度比13.7%の増益、非製造業は同▲6.9%の減益となり、全産業では同7.2%の増益となった。

前回調査との比較では、製造業(修正率10.7%)、非製造業(同1.1%)とも上方修正されたため、全産業では7.9%の上方修正となった。

2017年度(計画)は、製造業は前年度比▲18.5%の減益、非製造業は同6.8%の増益となり、全産業では同▲11.6%の減益計画。

前回調査との比較では、製造業(修正率▲1.5%)、非製造業(同▲6.2%)とも下方修正されたため、全産業では▲3.1%の下方修正となった。

4. 設備投資計画等

(1) 設備投資額(含む土地投資額)

2016年度(実績)は、製造業は前年度比28.8%、非製造業は同19.5%の増加となり、全産業では同24.6%の増加となった。

前回調査との比較では、非製造業(修正率▲6.7%)は下方修正されたものの、製造業(同24.6%)は上方修正されたため、全産業では8.7%の上方修正となった。

2017年度(計画)は、製造業は前年度比63.7%、非製造業は同1.7%の増加となり、全産業では同36.7%の増加計画。

前回調査との比較では、製造業(修正率▲2.1%)は下方修正されたものの、非製造業(同31.9%)は上方修正されたため、全産業では6.9%の上方修正となった。

(2) 生産・営業用設備判断

生産・営業用設備・・・製造業の「過剰」超幅は縮小したものの、非製造業の「不足」超幅も縮小したため、全産業の「不足」超幅は▲4と前回調査比縮小。

5. 雇用

雇用人員判断・・・製造業、非製造業とも「不足」超幅が拡大したため、全産業の「不足」超幅は▲24と前回調査比拡大。先行き(2017年9月予測)の「不足」超幅は拡大を予測。

新卒採用計画・・・2017年度、2018年度とも増加計画。

6. 企業金融

- 資金繰り判断（全産業）・・・・・・・・・・ 「楽である」超幅が縮小。
- 金融機関の貸出態度判断（全産業）・・ 「緩い」超幅が縮小。
- 借入金利水準判断（全産業）・・・・・・・・ 「低下」超幅が縮小。

以 上